



温第 80-2 号

# 温泉分析書

(鉱泉分析試験による分析成績)

申請者 住所 滋賀県大津市御陵町3番1号  
 氏名 大津市長 目片 信  
 温泉名 雄琴(源泉名 3源泉(市第4号泉、市第5号泉、市第6号泉)の混合泉)  
 採水地 滋賀県大津市雄琴一丁目字初倉1622番地3、混合タンク2号にて採水

## 1 採水地における調査及び試験成績

(1)調査及び試験者	滋賀県衛生科学センター 河野哲夫		
(2)調査及び試験年月日	平成21年11月18日		
(3)利用量	193m <sup>3</sup> /日(水中モーターポンプ式)	(4)泉温	30.0℃(気温 11.6℃)
(5)知覚的試験	微黄褐色澄明・無臭	(6)pH値	8.58(30.1℃)
(7)ラドン含有量	3.15×10 <sup>-10</sup> キュリ-ラドン/kg (0.87 マツヘ/kg)		

## 2 試験室における試験成績

(1)試験者	滋賀県衛生科学センター 河野哲夫		
(2)分析終了年月日	平成21年12月1日		
(3)知覚的試験	僅黄褐色澄明・黄褐色沈殿あり・無臭	(4)pH値	8.53(18.4℃)
(5)密度	0.9975(20℃/4℃)	(6)蒸発残留物	0.28 g/kg

## 3 試料1kg中の成分・分量および組成

陽イオン	ミigram	ミリバル	ミリパーセント
ナトリウムイオン(Na <sup>+</sup> )	93.1	4.05	92.67
カリウムイオン(K <sup>+</sup> )	1.3	0.03	0.69
アンモニウムイオン(NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> )	1.6	0.09	2.06
マグネシウムイオン(Mg <sup>2+</sup> )	0.4	0.03	0.69
カルシウムイオン(Ca <sup>2+</sup> )	3.4	0.17	3.89
計	99.8	4.37	100.00

陰イオン	ミigram	ミリバル	ミリパーセント
フッ化物イオン(F <sup>-</sup> )	18.0	0.95	21.54
塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )	12.1	0.34	7.71
硫酸イオン(SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )	0.7	0.01	0.23
炭酸水素イオン(HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	179.6	2.94	66.67
炭酸イオン(CO <sub>3</sub> <sup>2-</sup> )	5.2	0.17	3.85
計	215.6	4.41	100.00

非解離成分	ミigram	ミリモル
珽酸(H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub> )	33.1	0.42
珽酸(HBO <sub>2</sub> )	1.5	0.03
非解離成分 計	34.6	0.45

溶存物質計(ガス性のものを除く) 0.35 g/kg

溶存ガス成分	ミigram	ミリモル
遊離炭酸(CO <sub>2</sub> )	0.8	0.02
溶存ガス成分 計	0.8	0.02

成分総計 0.35 g/kg

その他微量成分	mg/kg
リチウムイオン(Li <sup>+</sup> )	0.01
バリウムイオン(Ba <sup>2+</sup> )	0.02
アルミニウムイオン(Al <sup>3+</sup> )	0.05
マンガンイオン(Mn <sup>2+</sup> )	0.02
総鉄	0.01
臭化物イオン(Br <sup>-</sup> )	0.03
水酸化物イオン(OH <sup>-</sup> )	0.06
硝酸イオン(NO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	0.09
リン酸水素イオン(HPO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )	0.01
銅イオン・総水銀・総ヒ素	不検出
カドミウムイオン・鉛イオン・総クロム	不検出
硫化水素	不検出

## 4 泉質

単純温泉(低張性アルカリ性低温泉)

5 禁忌症、適応症等 温泉分析書別表中5に記載する。  
平成21年12月7日

登録番号 滋賀県第1号  
 滋賀県大津市御殿浜13-45  
 滋賀県衛生科学センター  
 所長 苗村 光廣



## 温泉分析書別表

1. 源泉名 3源泉（市第4号泉、市第5号泉、市第6号泉）の混合泉  
（温泉名 雄琴）
2. 採水地 滋賀県大津市雄琴一丁目字初倉 1622 番地 3、混合タンク 2号にて採水
3. 温泉分析申請者 大津市長 目片 信
4. 泉質 単純温泉（低張性アルカリ性低温泉）

5. 療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次のとおりである。

### 浴用の禁忌症

急性疾患（特に熱のある場合）、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中（特に初期と末期）

### 浴用の適応症

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進

### 浴用上の一般的注意事項

- ア. 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当たり1回程度とすること。  
その後は1日当たり2回ないし3回までとすること。
- イ. 温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間を相当とすること。
- ウ. 温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり（湯さわり又は浴湯反応）が現れることがある。「湯あたり」の間は、入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。
- エ. 以上のほか、入浴には次の諸点について注意すること。
  - （ア） 入浴時間は、入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分程度とし、慣れるにしたがって延長してもよい。
  - （イ） 入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。
  - （ウ） 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない（湯ただれを起こしやすい人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい）。
  - （エ） 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。
  - （オ） 次の疾患については、原則として高温浴（42℃以上）を禁忌とする。  
イ、高度の動脈硬化症   ロ、高血圧症   ハ、心臓病
  - （カ） 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意をする。
  - （キ） 食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。
  - （ク） 飲酒しての入浴は特に注意する。

（注）この別表は、温泉法第14条による掲示に必要な参考資料となるものである。





温第 80-3 号

# 温泉分析書

(鉱泉分析試験による分析成績)

申請者 住所 滋賀県大津市御陵町3番1号  
 氏名 大津市長 目片 信  
 温泉名 雄琴(源泉名 2源泉(市第4号泉、市第5号泉)の混合泉)  
 採水地 滋賀県大津市雄琴二丁目1686番地、混合タンクにて採水

## 1 採水地における調査及び試験成績

(1)調査及び試験者	滋賀県衛生科学センター 河野哲夫		
(2)調査及び試験年月日	平成21年11月18日		
(3)利用量	393m <sup>3</sup> /日(水中モーターポンプ式)	(4)泉温	28.1℃ (気温 12.2℃)
(5)知覚的試験	無色澄明・無臭	(6)pH値	9.00 (27.9℃)
(7)ラドン含有量	8.59×10 <sup>-10</sup> キュリー・ラドン/kg (2.36 マツヘ/kg)		

## 2 試験室における試験成績

(1)試験者	滋賀県衛生科学センター 河野哲夫		
(2)分析終了年月日	平成21年12月1日		
(3)知覚的試験	無色澄明・無臭	(4)pH値	8.90 (19.0℃)
(5)密度	0.9984 (20℃/4℃)	(6)蒸発残留物	0.24 g/kg

## 3 試料1kg中の成分・分量および組成

陽イオン	ミリグラム	ミリバル	ミリパーセント
ナトリウムイオン(Na <sup>+</sup> )	87.0	3.78	97.17
カリウムイオン(K <sup>+</sup> )	0.5	0.01	0.26
マグネシウムイオン(Mg <sup>2+</sup> )	0.1	0.01	0.26
カルシウムイオン(Ca <sup>2+</sup> )	1.8	0.09	2.31
計	89.4	3.89	100.00

陰イオン	ミリグラム	ミリバル	ミリパーセント
フッ化物イオン(F <sup>-</sup> )	20.2	1.06	26.37
塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )	5.8	0.16	3.98
水酸化物イオン(OH <sup>-</sup> )	0.2	0.01	0.25
硫酸イオン(SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )	0.9	0.02	0.50
炭酸水素イオン(HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup> )	146.5	2.40	59.70
炭酸イオン(CO <sub>3</sub> <sup>2-</sup> )	11.1	0.37	9.20
計	184.7	4.02	100.00

非解離成分	ミリグラム	ミリモル
メタケイ酸(H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub> )	28.8	0.37
メタリン酸(HBO <sub>2</sub> )	1.9	0.04
非解離成分 計	30.7	0.41

溶存物質計(ガス性のものを除く) 0.30 g/kg

溶存ガス成分	ミリグラム	ミリモル
遊離炭酸(CO <sub>2</sub> )	0.2	0.00
溶存ガス成分 計	0.2	0.00

成分総計 0.31 g/kg

その他微量成分	mg/kg
リチウムイオン(Li <sup>+</sup> )	0.01
アルミニウムイオン(Al <sup>3+</sup> )	0.04
臭化物イオン(Br <sup>-</sup> )	0.02
リン酸水素イオン(HPO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> )	0.01
バリウムイオン・マンガンイオン・総鉄	不検出
銅イオン・総水銀・総ヒ素	不検出
カドミウムイオン・鉛イオン・総クロム	不検出
硫化水素	不検出

## 4 泉質

単純温泉(低張性アルカリ性低温泉)

## 5 禁忌症、適応症等 温泉分析書別表中5に記載する。

平成21年12月7日

登録番号 滋賀県第1号  
 滋賀県大津市御殿浜13-45  
 滋賀県衛生科学センター  
 所長 苗村 光廣



## 温泉分析書別表

1. 源泉名 2 源泉（市第4号泉、市第5号泉）の混合泉（温泉名 雄琴）
2. 採水地 滋賀県大津市雄琴二丁目 1686 番地、混合タンクにて採水
3. 温泉分析申請者 大津市長 目片 信
4. 泉質 単純温泉（低張性アルカリ性低温泉）

5. 療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次のとおりである。

### 浴用の禁忌症

急性疾患（特に熱のある場合）、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中（特に初期と末期）

### 浴用の適応症

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進

### 浴用上の一般的注意事項

- ア. 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当たり1回程度とすること。  
その後は1日当たり2回ないし3回までとすること。
- イ. 温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間を適当とすること。
- ウ. 温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり（湯さわり又は浴湯反応）が現れることがある。「湯あたり」の間は、入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。
- エ. 以上のほか、入浴には次の諸点について注意すること。
- （ア） 入浴時間は、入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分程度とし、慣れるにしたがって延長してもよい。
- （イ） 入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。
- （ウ） 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない（湯ただれを起こしやすい人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい）。
- （エ） 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。
- （オ） 次の疾患については、原則として高温浴（42℃以上）を禁忌とする。  
イ、高度の動脈硬化症   ロ、高血圧症   ハ、心臓病
- （カ） 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意をする。
- （キ） 食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。
- （ク） 飲酒しての入浴は特に注意する。

（注） この別表は、温泉法第14条による掲示に必要な参考資料となるものである。